



令和7年10月29日

第23回21世紀出生児縦断調査(平成13年出生児)の結果について公表します

文部科学省では、「21世紀出生児縦断調査(平成13年出生児)」を令和6年に実施しました。この度、その調査結果を取りまとめましたので、別紙のとおり、お知らせします。

1. 経緯・目的

本調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、2001年(平成13年)に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策や児童の健全育成等の国の施策に活用するために厚生労働省が開始した統計調査です。第16回(平成29年)からは、教育面を含む施策にも活用することを目的として、文部科学省を実施主体とする厚生労働省との共管調査として実施しています。

2. 調査内容

(1) 調査対象：全国の2001年(平成13年)に出生した子供のうち、1月10日～17日の間に出生した子(1月生)及び7月10日～17日の間に出生した子(7月生)を調査対象としています。

今回は第23回目の調査であり、対象者の年齢は23歳です。

(2) 調査時期：令和5年12月11日～令和6年3月17日(1月生) 回答者数：10,156名
令和6年7月8日～令和6年10月14日(7月生) 回答者数：10,302名

(3) 調査事項：本人の状況(現状(在学、就業等)、性格等(自尊感情、生活全般の満足度等))
在学者の状況(学校生活の満足度、大学院進学状況、博士課程への進学意向等)
就業者の状況(仕事を選んだ理由、初職の希望度と満足度、仕事に対する認識等)

3. 調査結果の概要

調査結果の概要は、別紙「調査結果のポイント」をご覧ください。

なお、詳細な集計表は「政府統計の総合窓口(e-Stat)」に掲載しています。

(<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00400203&tstat=000001119175>)

4. 今後の対応：教育に関する諸施策を検討・立案するための基礎資料として活用するとともに、引き続き調査を継続し、縦断データの更なる整備を行います。

<担当> 総合教育政策局参事官(調査企画担当)

参事官 野田 浩絵

教育分析官 唐沢 裕之

縦断調査係 小松 幸恵

電話：03-5253-4111(代表)

内線：3251

第23回21世紀出生児縦断調査(平成13年出生児)について

1 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は次のとおりである。

	1月生まれ			7月生まれ			合計		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
第1回	26,620	23,423	88.0%	26,955	23,592	87.5%	53,575	47,015	87.8%
第2回	23,391	21,923	93.7%	23,575	22,002	93.3%	46,966	43,925	93.5%
第3回	23,374	21,365	91.4%	23,523	21,447	91.2%	46,897	42,812	91.3%
第4回	22,439	20,699	92.2%	22,398	20,860	93.1%	44,837	41,559	92.7%
第5回	21,735	19,824	91.2%	21,824	19,993	91.6%	43,559	39,817	91.4%
第6回	21,020	19,154	91.1%	21,167	19,383	91.6%	42,187	38,537	91.3%
第7回	20,182	18,304	90.7%	20,416	18,481	90.5%	40,598	36,785	90.6%
第8回	19,530	17,978	92.1%	19,731	18,158	92.0%	39,261	36,136	92.0%
第9回	18,865	17,480	92.7%	19,067	17,784	93.3%	37,932	35,264	93.0%
第10回	18,359	17,256	94.0%	18,630	16,868	90.5%	36,989	34,124	92.3%
第11回	17,948	16,426	91.5%	18,111	16,487	91.0%	36,059	32,913	91.3%
第12回	17,529	16,067	91.7%	17,509	15,998	91.4%	35,038	32,065	91.5%
第13回	16,960	15,204	89.6%	16,944	15,127	89.3%	33,904	30,331	89.5%
第14回	16,451	14,780	89.8%	16,392	14,726	89.8%	32,843	29,506	89.8%
第15回	15,738	14,462	91.9%	15,670	14,348	91.6%	31,408	28,810	91.7%
第16回	15,245	13,584	89.1%	15,052	13,316	88.4%	30,297	26,900	88.7%
第17回	15,423	12,420	80.5%	15,357	12,466	81.2%	30,780	24,886	80.9%
第18回	15,387	12,339	80.2%	15,307	12,315	80.5%	30,694	24,654	80.3%
第19回	15,261	12,702	83.2%	15,230	12,802	84.1%	30,491	25,504	83.6%
第20回	15,137	12,175	80.4%	15,141	12,160	80.3%	30,278	24,335	80.4%
第21回	14,989	11,466	76.5%	14,949	11,406	76.3%	29,938	22,872	76.4%
第22回	14,902	10,780	72.3%	14,685	10,743	73.2%	29,587	21,523	72.7%
第23回	14,550	10,156	69.8%	14,469	10,302	71.2%	29,019	20,458	70.5%

2 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。
 (2) 調査回における対象児の年齢は以下のとおりである。

調査回	対象児の年齢	調査回	対象児の年齢
第1回調査	月齢6か月	第13回調査	13歳(中学1年生)
第2回調査	1歳6か月	第14回調査	14歳(中学2年生)
第3回調査	2歳6か月	第15回調査	15歳(中学3年生)
第4回調査	3歳6か月	第16回調査	16歳(高校1年生等)
第5回調査	4歳6か月	第17回調査	17歳(高校2年生等)
第6回調査	5歳6か月	第18回調査	18歳(高校3年生等)
第7回調査	7歳(小学1年生)	第19回調査	19歳(大学1年生等)
第8回調査	8歳(小学2年生)	第20回調査	20歳(大学2年生等)
第9回調査	9歳(小学3年生)	第21回調査	21歳(大学3年生等)
第10回調査	10歳(小学4年生)	第22回調査	22歳(大学4年生等)
第11回調査	11歳(小学5年生)	第23回調査	23歳
第12回調査	12歳(小学6年生)		

注：第7回調査(7歳)は、第6回調査(5歳6か月)から1年6か月後に実施した。

- (3) 表章記号の規約

計数のない場合	—
率が微小(0.05未満)の場合	0.0

第 23 回「21 世紀出生児縦断調査（平成 13 年出生児）」調査結果のポイント

I 本人の状況（回答者全員について）

1. 調査対象者の現在の状況

- 調査対象者の現在の状況について、在学者は 18.9%、就業者は 63.5% となっており、前回（第 22 回）と比べると、在学者は大幅に減少し、就業者は大幅に増加している。また、在学者は、大学院（専門職大学院を除く）に在学が 5.2%、大学に在学が 11.9% となっている。（図 1－1、図 1－2）
- 就業者の最終学歴は、大学卒が 54.7% と最も多く、次いで、高等学校卒が 19.9%、専修学校・各種学校卒が 16.7% となっている。（図 1－3）

図 1－1 調査対象者の現在の状況

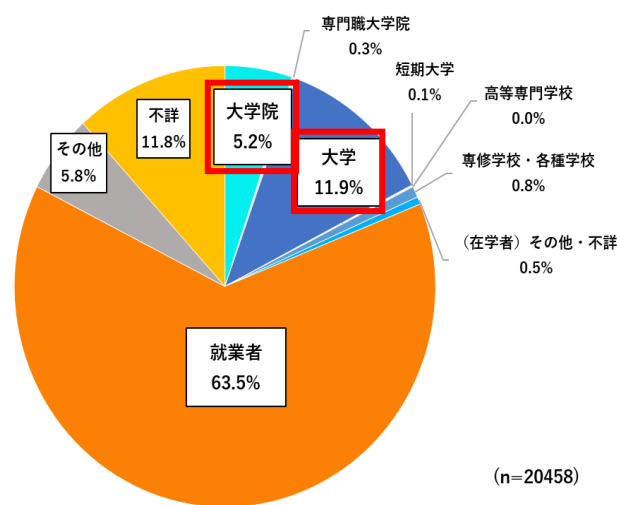


図 1－2 前回調査との比較

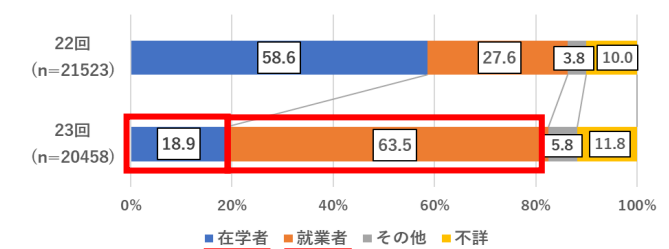
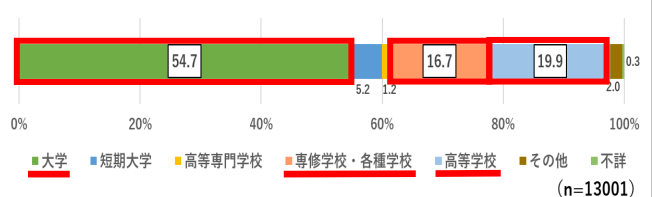


図 1－3 就業者の最終学歴



※「その他」は、「中学校」「特別支援学校」「その他（外国の学校など）」等と回答した者の合計。

表 1

(単位：人)

	対象者数 (総数)	在学者	在学者の内訳							就業者	その他	不詳
			大学院	専門職大学院	大学	短期大学	高等専門学校	専修学校・各種学校	その他			
第22回調査	21523	12612	—	—	11842	56	45	457	212	5946	811	2154
	100.0%	58.6%	—	—	55.0%	0.3%	0.2%	2.1%	1.0%	27.6%	3.8%	10.0%
第23回調査	20458	3869	1058	59	2444	26	3	167	112	13001	1181	2407
	100.0%	18.9%	5.2%	0.3%	11.9%	0.1%	0.0%	0.8%	0.5%	63.5%	5.8%	11.8%

※ 原則、本人から回答があった数を計上しており、保護者のみから回答があった場合は「不詳」に計上。

※ 「就業者」は、在学せず、「就業（常勤の仕事）をしている」「パート・アルバイト（非常勤の仕事）をしている」と回答した者の合計。なお、「在学しながら、就業（常勤の仕事）をしている」と回答した者（n=64）（本資料では「在学しながら、就業している者」と表記）は、図 1－1、図 1－2、図 1－3、表 1 では、便宜上、「在学者」に計上。

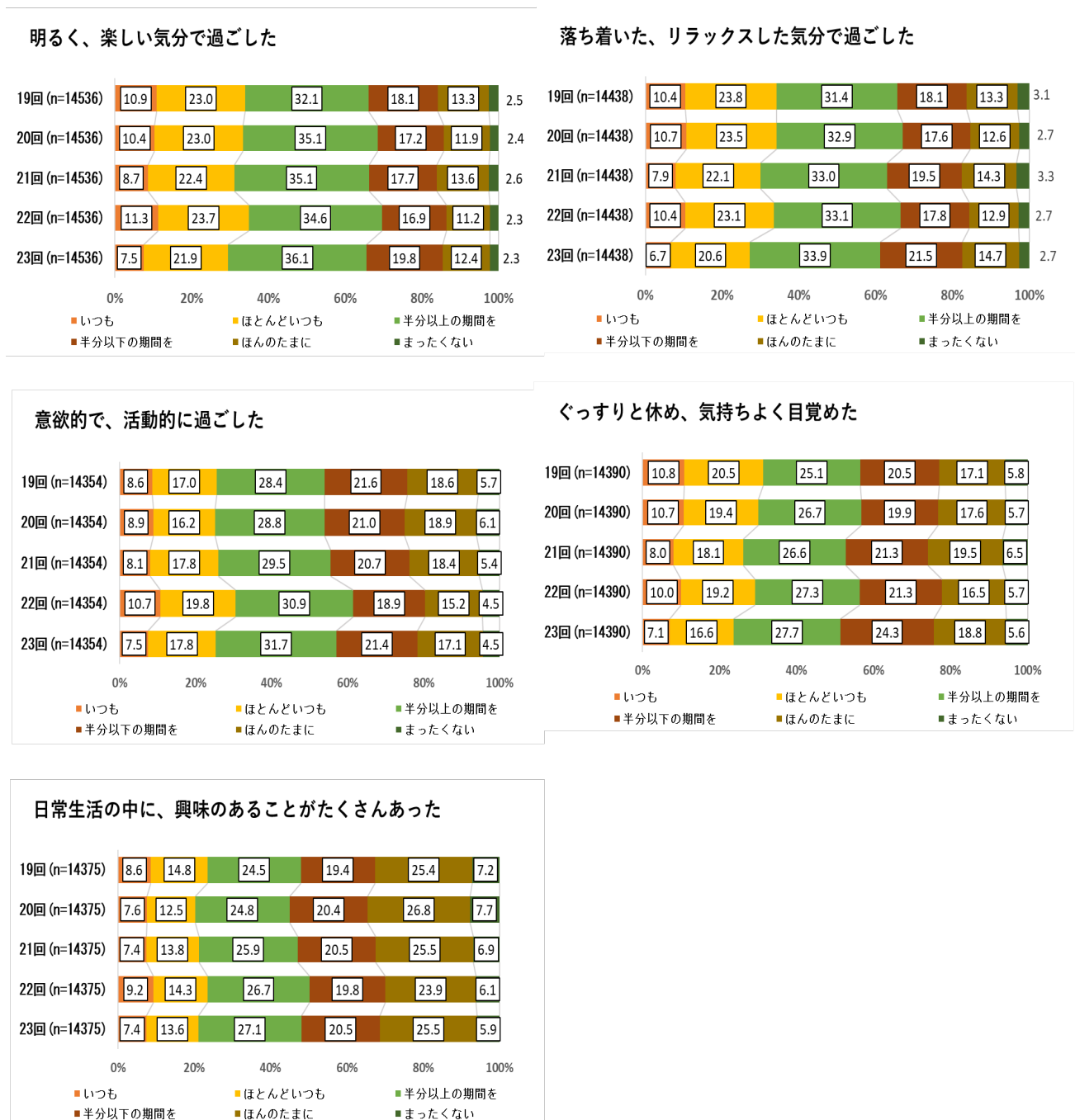
※ 「その他」は、「就業していない」「公共職業能力開発施設等で訓練している」「その他」と回答した者の合計。

2. 本人の性格等

2-1. 精神的健康の状態

○ 精神的健康の状態について、第 19 回から今回（第 23 回）までの傾向をみると、全ての項目において、「いつも」「ほとんどいつも」と回答した者の割合は、前々回（第 21 回）から前回（第 22 回）にかけて増加していたが、前回（第 22 回）から今回（第 23 回）にかけて減少している。（図 2）

図 2 精神的健康の状態

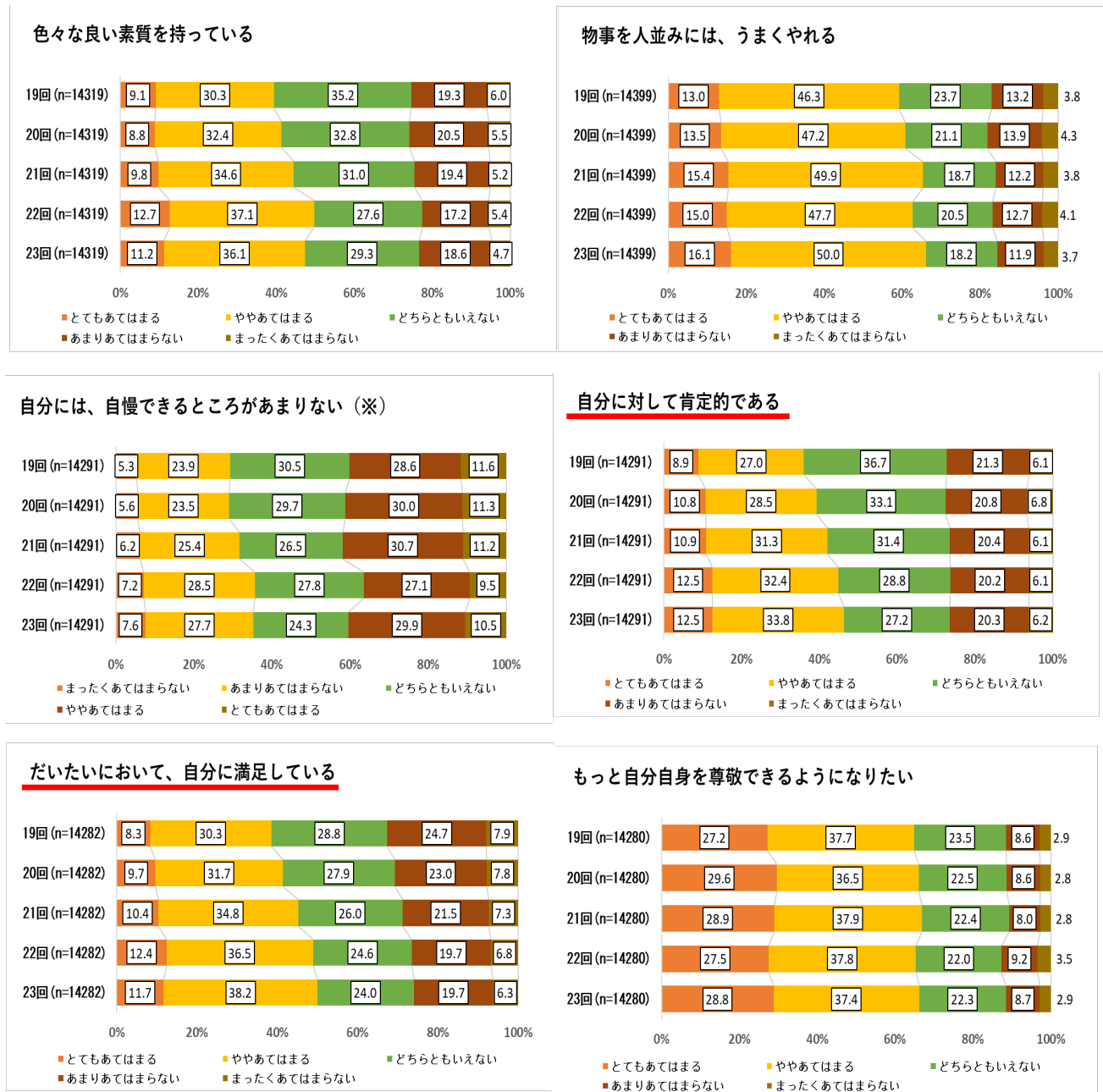


※ 各項目について、第 19 回から今回（第 23 回）までの全てに回答があった者を集計している。

2-2. 自尊感情

○ 自尊感情について、第19回から今回（第23回）までの傾向をみると、「自分に対して肯定的である」「だいたいにおいて、自分に満足している」の各項目において、「とてもあてはまる」「ややあてはまる」と回答した者の割合の合計は、毎回増加している。（図3）

図3 自尊感情

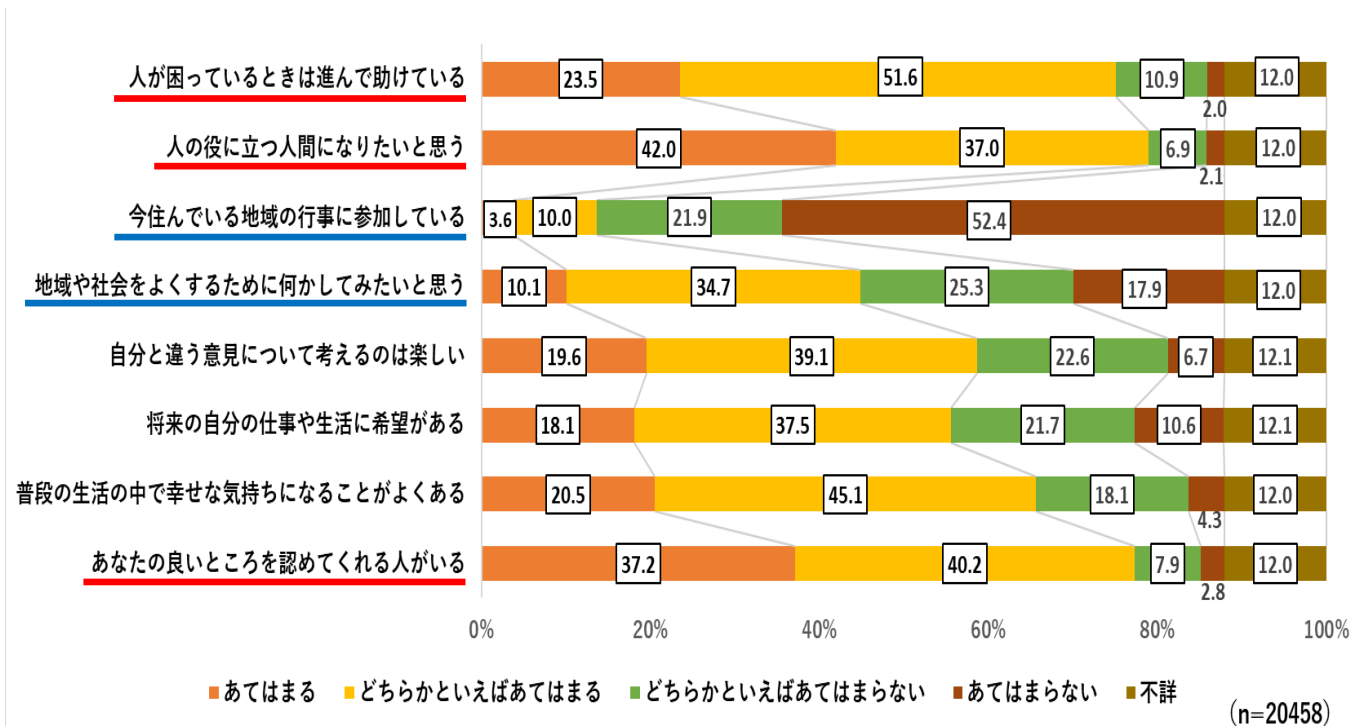


※ 各項目について、第19回から今回（第23回）までの全てに回答があった者を集計している。
 ※ 「自分には、自慢できるところがあまりない」は、否定するほど自尊感情が高いとされる項目のため、「まったくあてはまらない」を先頭に左から並ぶよう、グラフを作成している。

2－3．生活全般の満足度【新規】

- 生活全般の満足度について、今回（第23回）、
- ・ 「人が困っているときは進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「あなたの良いところを認めてくれる人がいる」の各項目において、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した者の割合の合計は、7割以上を占めている。
 - ・ 一方、「今住んでいる地域の行事に参加している」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」の各項目において、その割合の合計は、5割を下回っている。（図4）

図4 生活全般の満足度



Ⅱ 在学者の状況

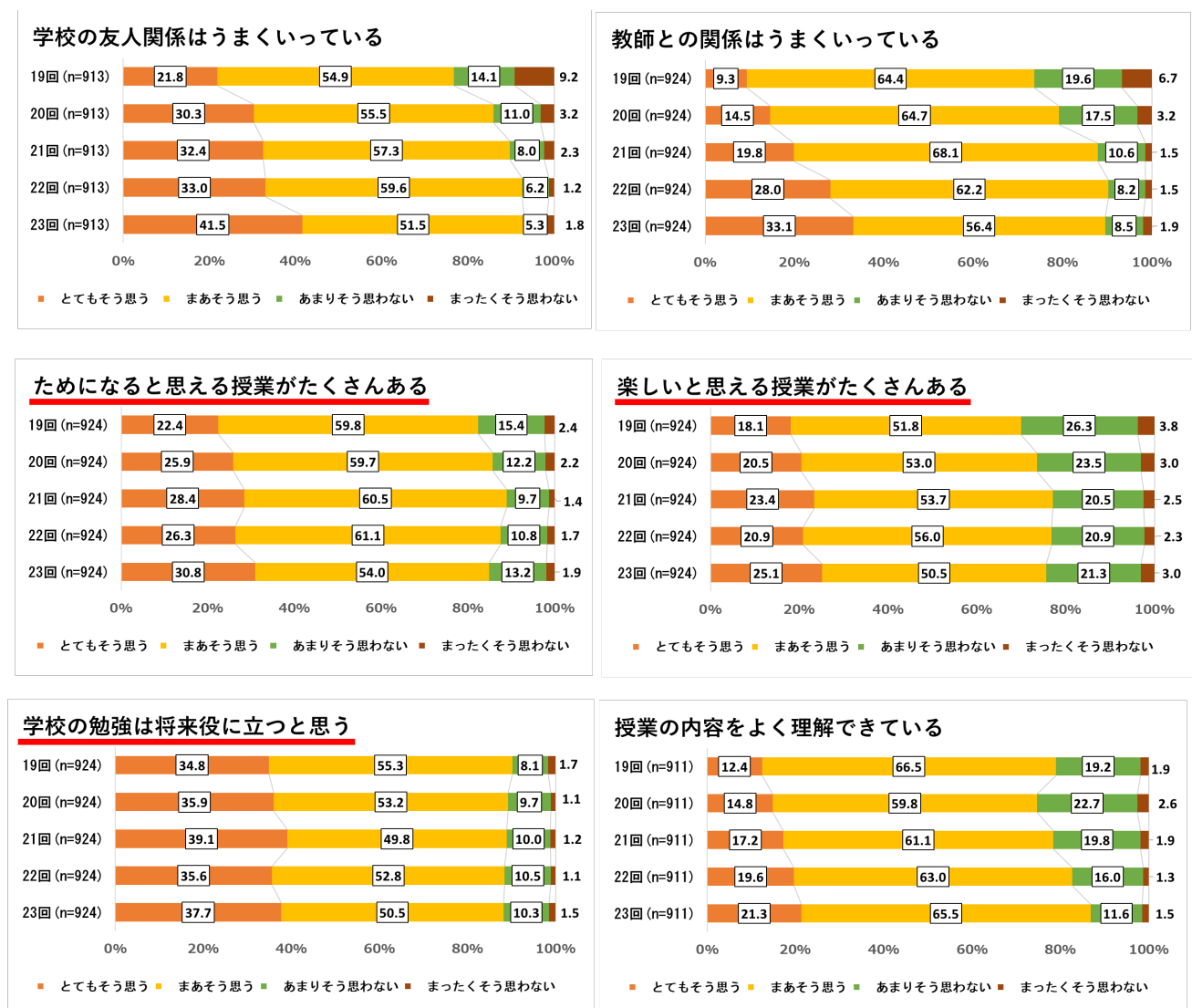
1. 学校生活の満足度

(※「在学者」には「在学しながら、就業している者」を含む。また、「大学院」には「専門職大学院」を含む。以下同様。)

(大学院在学者)

- 学校生活の満足度について、「今回（第 23 回）の大学院在学者全体」と「前回（第 22 回）の在学者全体」の第 19 回から前回（第 22 回）までの傾向を比較すると、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した者の割合の合計は、「今回（第 23 回）の大学院在学者全体」の方が総じて高くなっており、中でも、「ためになると思える授業がたくさんある」「楽しいと思える授業がたくさんある」「学校の勉強は将来役に立つと思う」の各項目においては、全ての回で高くなっている。(図 5、参考)

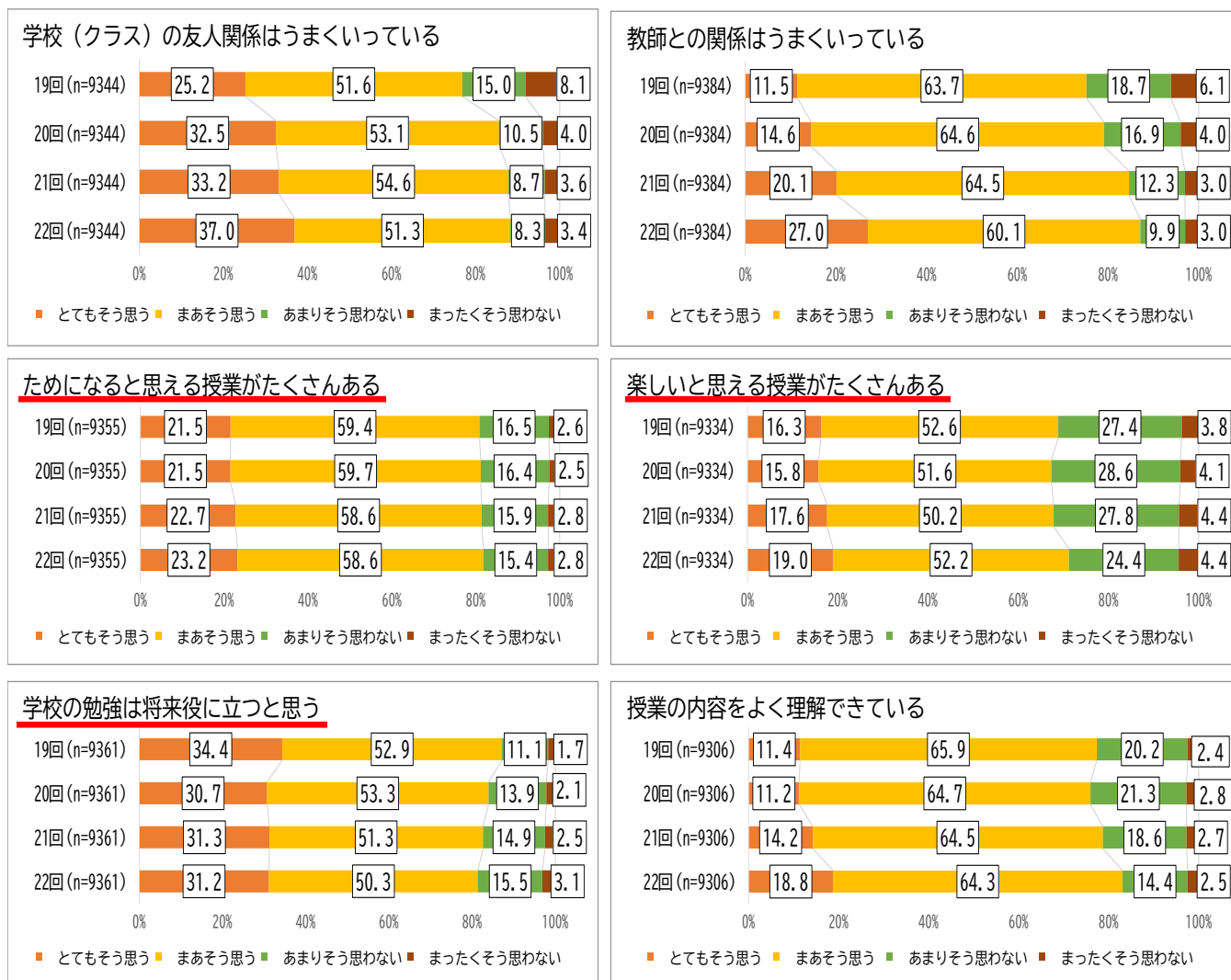
図 5 学校生活の満足度（大学院在学者）



※ 各項目について、第 19 回から今回（第 23 回）までの全てに回答があった者を集計している。

(参考)

○学校生活の満足度（前回（第22回））（※在学者全体に係るもの）



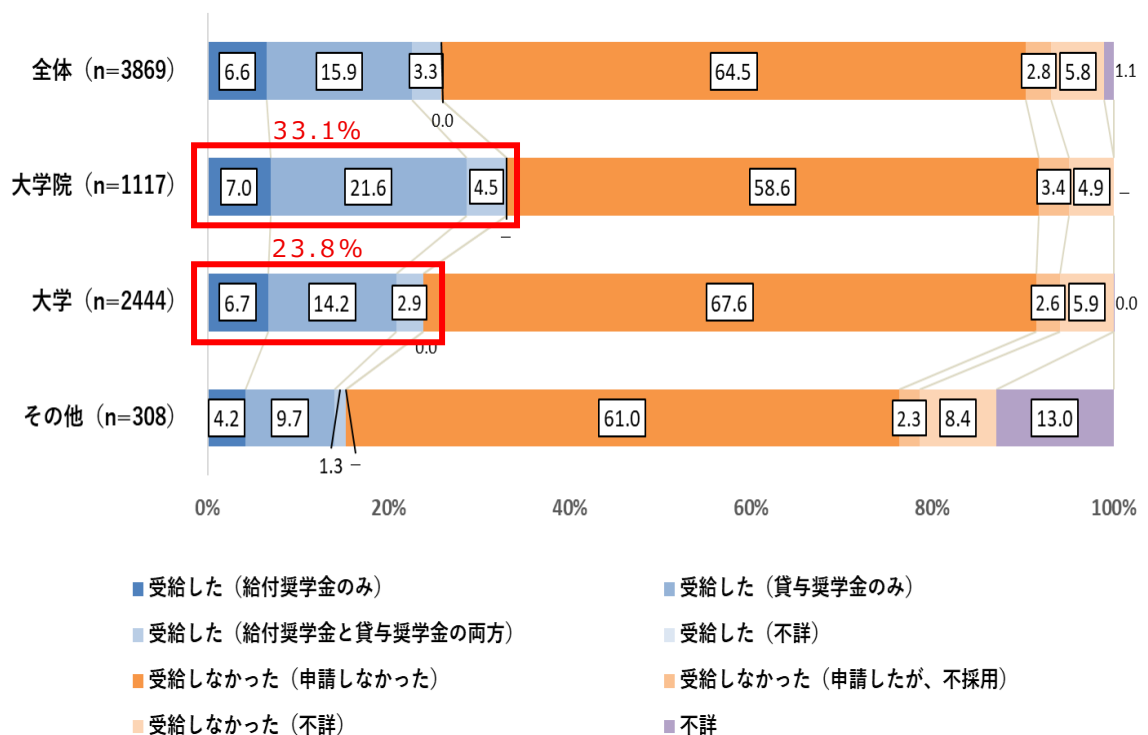
※ 各項目について、第19回から前回（第22回）までの全てに回答があった者を集計している。

（出典）「第22回21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）結果（令和6年10月25日）」
（「Ⅱ 在学者の状況」「1. 学校生活の満足度」）

2. 奨学金の受給状況

- 奨学金の受給状況について、今回（第 23 回）、「受給した」（受給予定を含む）と回答した者の割合は、全体で 25.8%となっている。また、学校種別にみると、大学院在学者では 33.1%となっており、大学の在学者の 23.8%より高くなっている。（図 6）

図 6 奨学金の受給状況



※ 図 6 の「受給した」には、奨学金の受給予定を含む。

※ 図 6 の「その他」は、在学者のうち、在学している学校の種類について、「短期大学」「高等専門学校」「専修学校・各種学校」「その他」と回答した者、及び、無回答の者の合計。

（奨学金の受給状況とアルバイト等の実施状況・理由との関係）

- 奨学金の受給状況とアルバイト等の実施状況・理由との関係について、
- ・ アルバイト等の実施状況については、「奨学金を受給した」と回答したの方が、「アルバイト等をしている（していた）」と回答した者の割合が 1.9 ポイント高くなっている。（図 7－1）
 - ・ アルバイト等をした特に強い理由については、「生活費・学費にあてるため」と回答した者の割合は、「奨学金を受給した」と回答したの方が「奨学金を受給しなかった」と回答した者より高くなっている。（図 7－2）

図 7－1 奨学金の受給状況（アルバイト等の実施状況）

（※大学院在学者に係るもの）

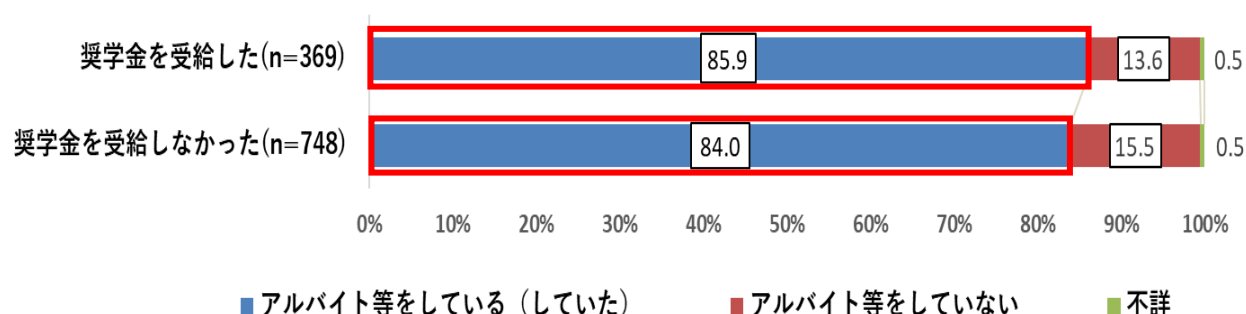
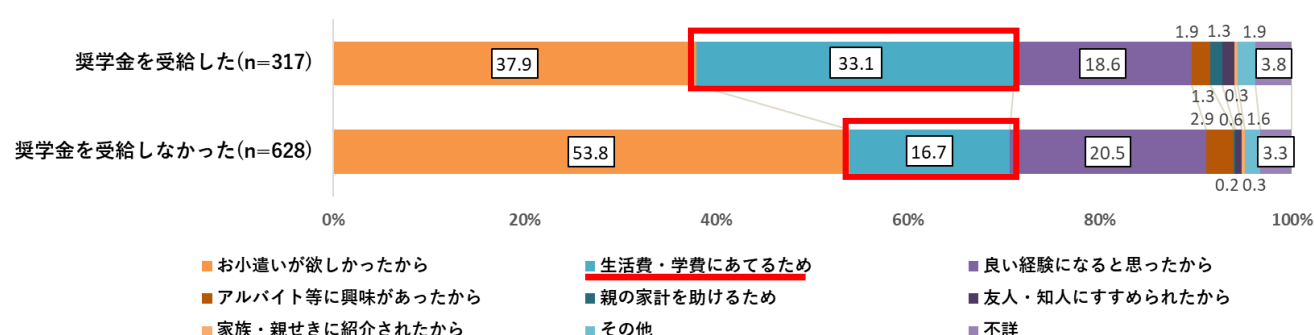


図 7－2 奨学金の受給状況（アルバイト等をした特に強い理由）

（※大学院在学者に係るもの）



※ 図 7－1、図 7－2 の「奨学金を受給した」には、奨学金の受給予定を含む。

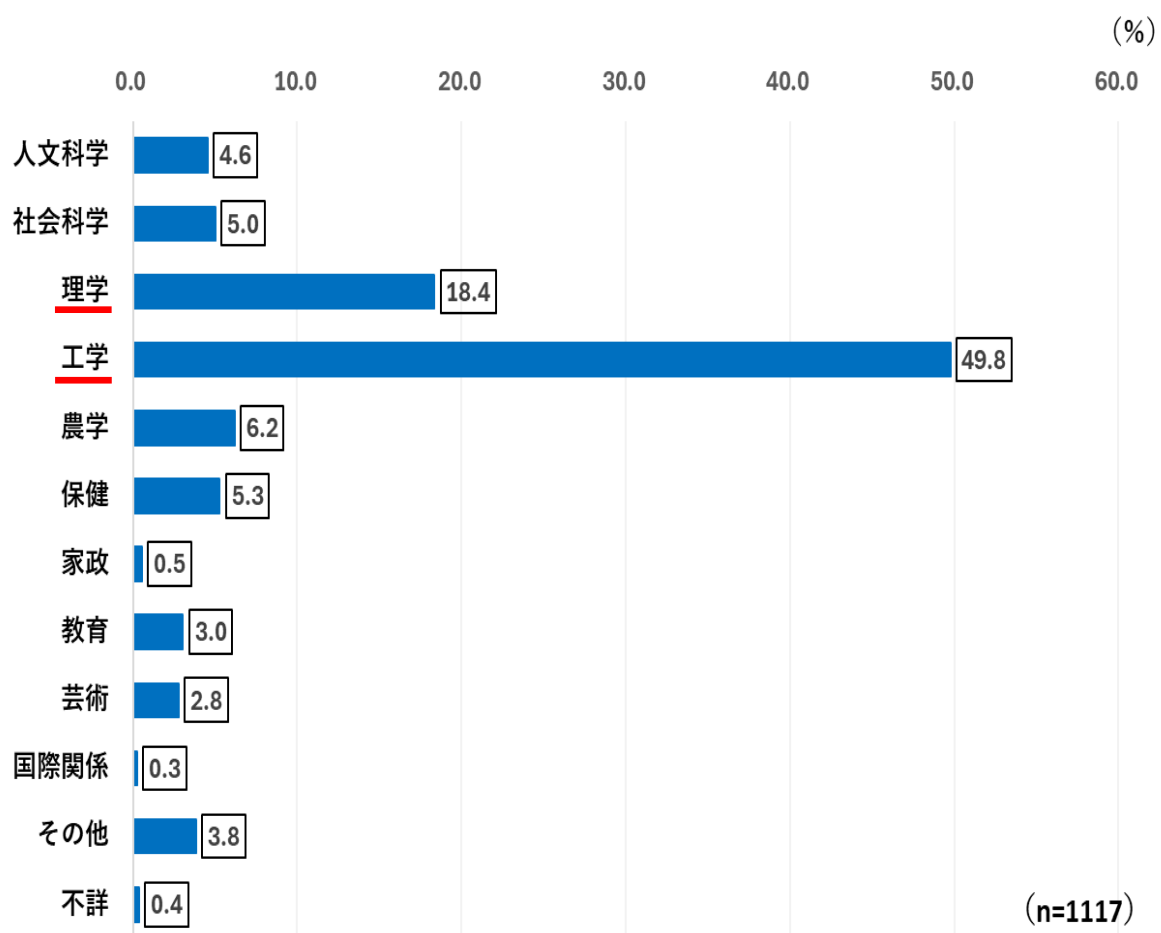
※ 図 7－2 は、「アルバイト等をしている（していた）」と回答した者を集計している。

3. 大学院への進学状況【新規】

(大学院の在学状況)

- 大学院の在学状況について、今回（第23回）、専門分野別にみると、「工学」が49.8%と約5割を占めており、次いで「理学」が18.4%、「農学」が6.2%、「保健」が5.3%となっており、「人文科学」は4.6%、「社会科学」は5.0%となっている。（図8）

図8 大学院の在学状況（専門分野別）



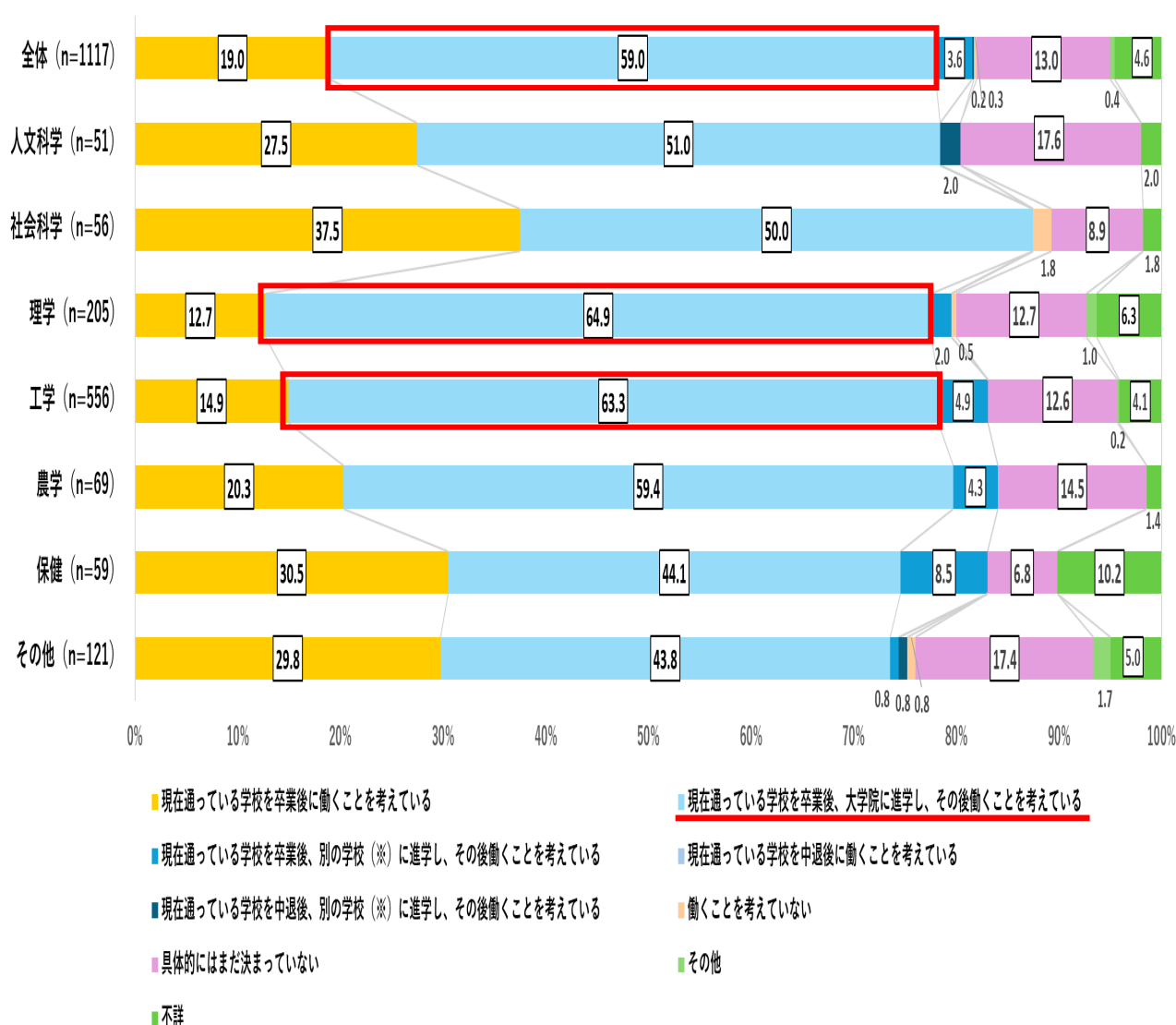
(n=1117)

※単一回答

（大学院進学と将来の進路希望との関係）

- 今回（第23回）、大学院に在学と回答した者について、第20回（主に大学2年時）における「将来の進路希望」をみると、「現在通っている学校を卒業後、大学院に進学し、その後働くことを考えている」と回答した者の割合は、大学院在学者全体の59.0%を占めている。（図9）
- また、専門分野別にみると、その割合は、「理学」が64.9%と高く、次いで「工学」が63.3%を占めており、「人文科学」では51.0%、「社会科学」では50.0%となっている。（図9）

図9 「大学院進学」と「将来の進路希望（第20回）」との関係



※ 図9の専門分野「その他」は、大学院在学者のうち、専門分野について、「家政」「教育」「芸術」「国際関係」「その他」と回答した者、及び、無回答の者の合計。

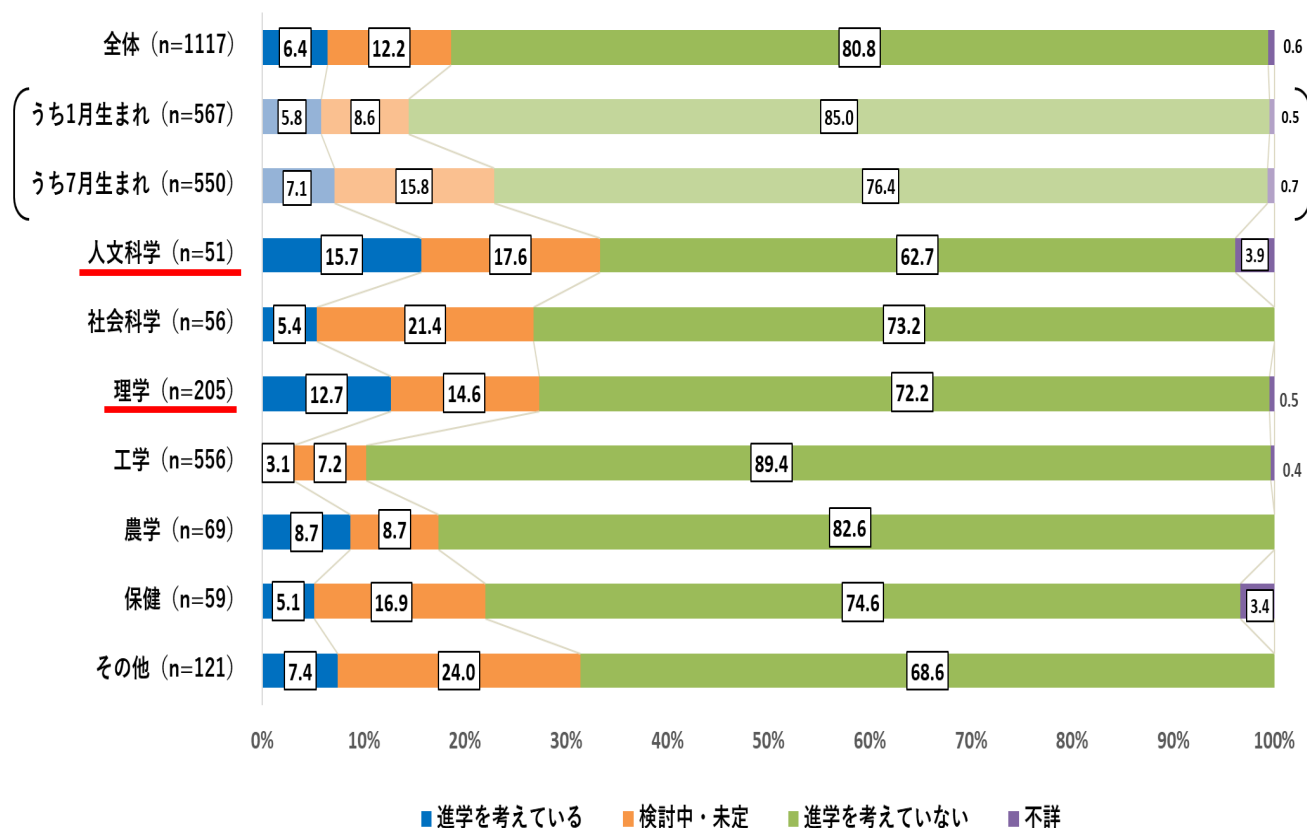
※ 図9の「別の学校」とは、大学その他、専門学校・各種学校等を含むが、大学院は含まない。

4. 博士課程への進学意向・懸念材料等【新規】

（博士課程への進学意向）

- 大学院在学者の博士課程への進学意向について、全体でみると、「進学を考えている」は6.4%、「検討中・未定」は12.2%となっている。また、専門分野別にみると、「進学を考えている」と回答した者の割合が比較的高いのは、「人文科学」の15.7%、「理学」の12.7%となっている。（図10）
- 一方、全体でみると、「進学を考えている」「検討中・未定」と回答した者の割合は、いずれも「7月生まれ」（進学後4か月時点）の方が「1月生まれ」（進学後10か月時点）より高くなっている。（図10）

図10 博士課程への進学意向（大学院在学者）



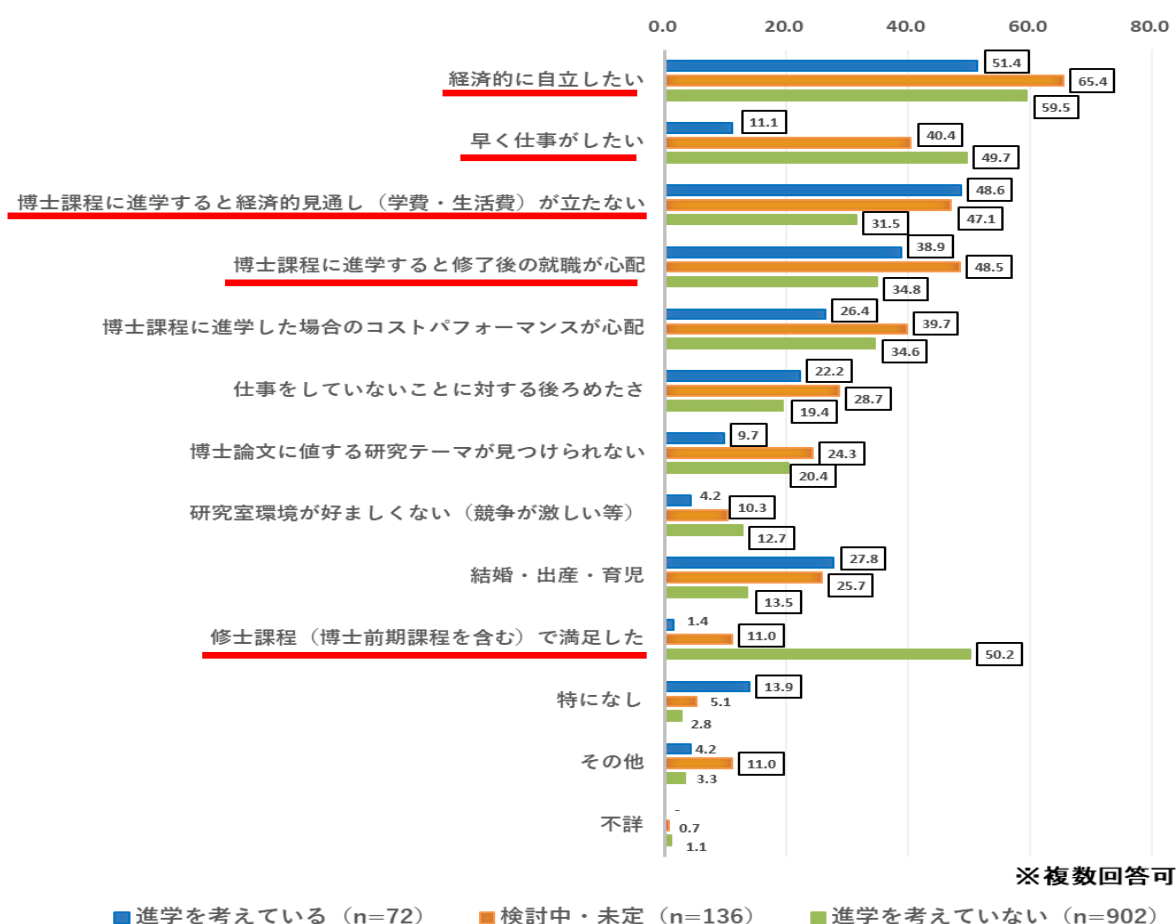
※ 図10の「博士課程」には、博士後期課程を含む。

※ 図10の専門分野「その他」は、大学院在学者のうち、専門分野について、「家政」「教育」「芸術」「国際関係」「その他」と回答した者、及び、無回答の者の合計。

(博士課程への進学に係る懸念材料又は進学しないと決めた理由)

- 大学院在学者の博士課程進学に係る懸念材料又は進学しないと決めた理由をみると、博士課程への進学希望の有無を問わず、「経済的に自立したい」と回答した者が最も多く、いずれも5割以上を占めている。(図11)
- 博士課程への「進学を考えている」と回答した者に係る懸念材料の上位は、「経済的に自立したい」に次いで、「博士課程に進学すると経済的見通し(学費・生活費)が立たない」「博士課程に進学すると修了後の就職が心配」となっている。(図11)
- 一方、博士課程への「進学を考えていない」と回答した者に係る進学しないと決めた理由の上位は、「経済的に自立したい」に次いで、「修士課程(博士前期課程を含む)で満足した」「早く仕事がしたい」となっており、いずれも約5割を占めている。(図11)
- また、博士課程への進学について、「検討中・未定」又は「進学を考えていない」と回答した者は、「進学を考えている」と回答した者と比較して、「早く仕事がしたい」と回答した者の割合が4倍程度高くなっている。(図11)

図11 博士課程への進学を検討する上での懸念材料・進学しないと決めた理由



※ 図11における「博士課程」には、博士後期課程を含む。

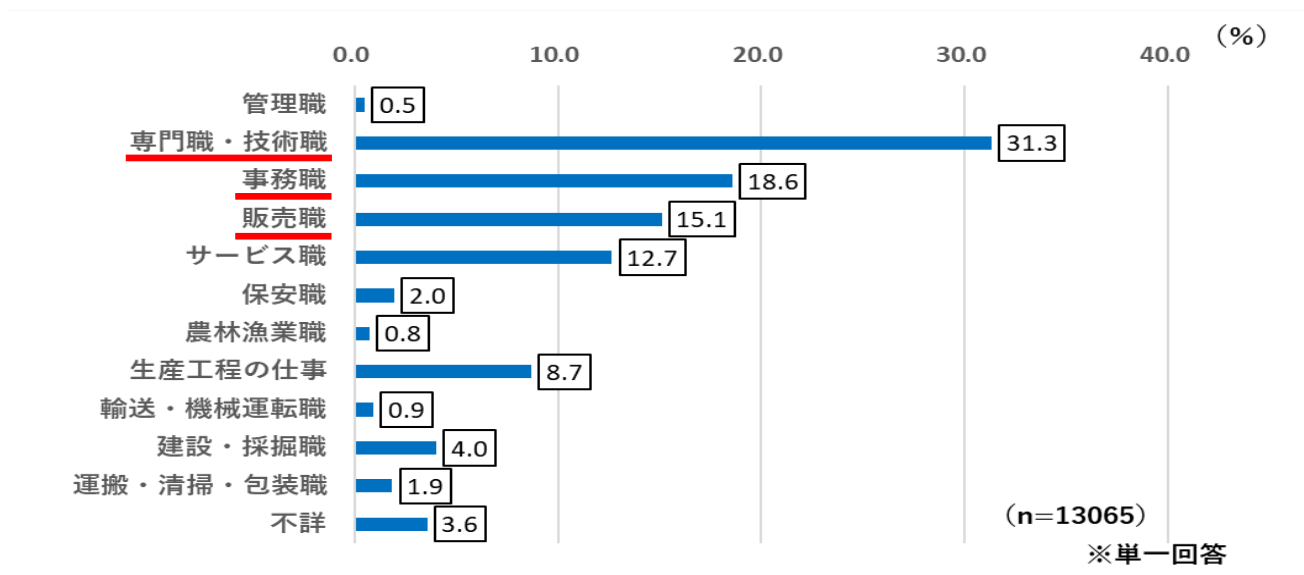
Ⅲ 就業者の状況

1. 現在の仕事内容

(※「就業者」には、「在学しながら、就業している者」を含む。以下同様。)

- 就業者の職種をみると、「専門職・技術職」(31.3%)の割合が最も高く、次いで、「事務職」(18.6%)、「販売職」(15.1%)となっている。(図12)

図12 就業者の職種

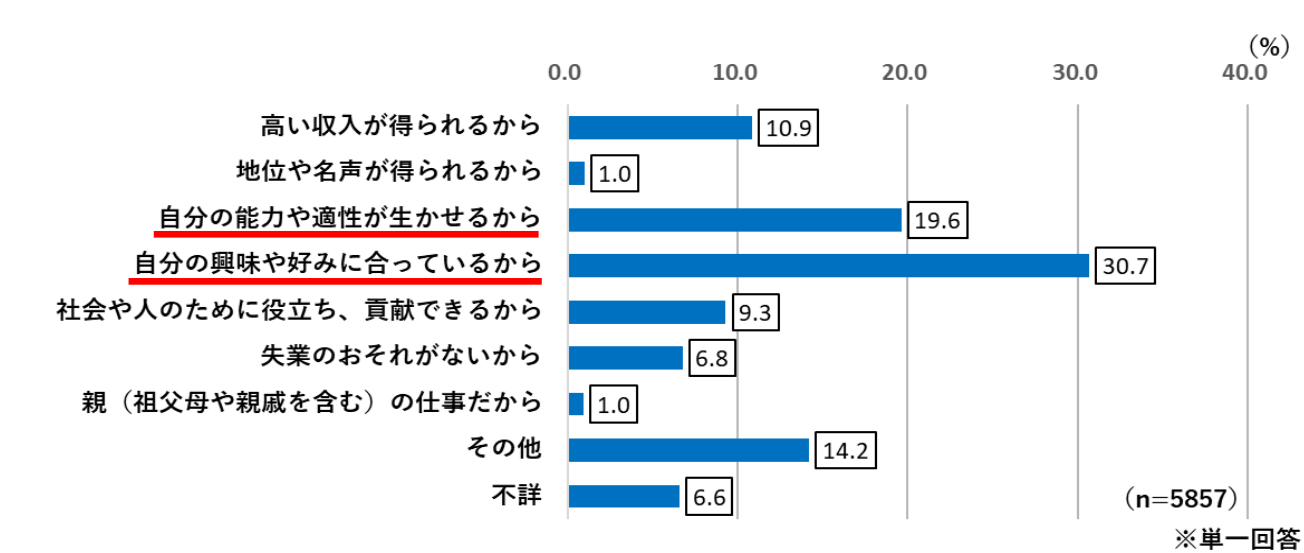


2. 現在の仕事を選んだ理由

(※就業者のうち、この1年間に新たに仕事をはじめたと回答した者に係るもの)

- 現在の仕事を選んだ理由をみると、「自分の興味や好みに合っているから」、「自分の能力や適性が生かせるから」と回答した者の割合が比較的高くなっている。(図13)

図13 現在の仕事を選んだ理由



3. 初職に関する就職活動開始前の希望度と満足度【新規】

- 初職で就いた仕事に対する就職活動開始前の希望度について、「希望していた」「やや希望していた」と回答した者の割合の合計は 74.0% となっている。
(図 14-1)
- また、初職で就いた仕事に対する就職活動開始前の希望度と、その仕事に対する満足度の関係をみると、初職で就いた仕事について、
- ・ 「希望していた」と回答した者は、「満足していた」「やや満足していた」と回答した割合の合計が 8 割を超えているのに対して、
 - ・ 「やや希望していた」、「特に希望していなかった」と回答した者では、その割合の合計は、それぞれ 54.7%、28.7% となっている。(図 14-2)

図 14-1 初職に関する就職活動開始前の希望度

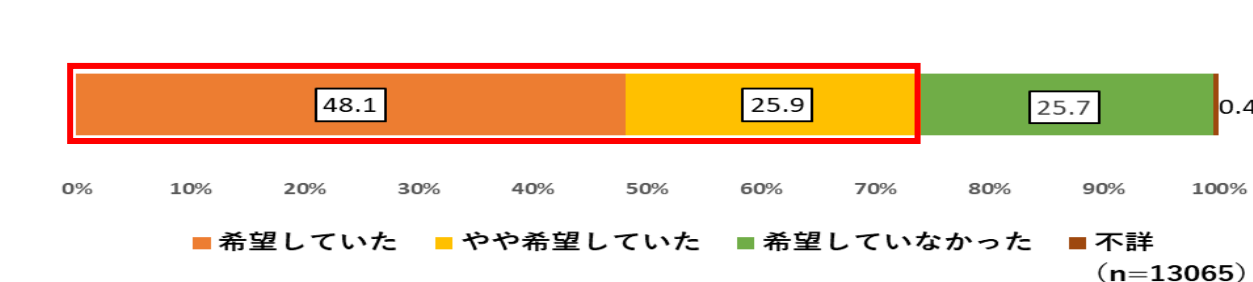
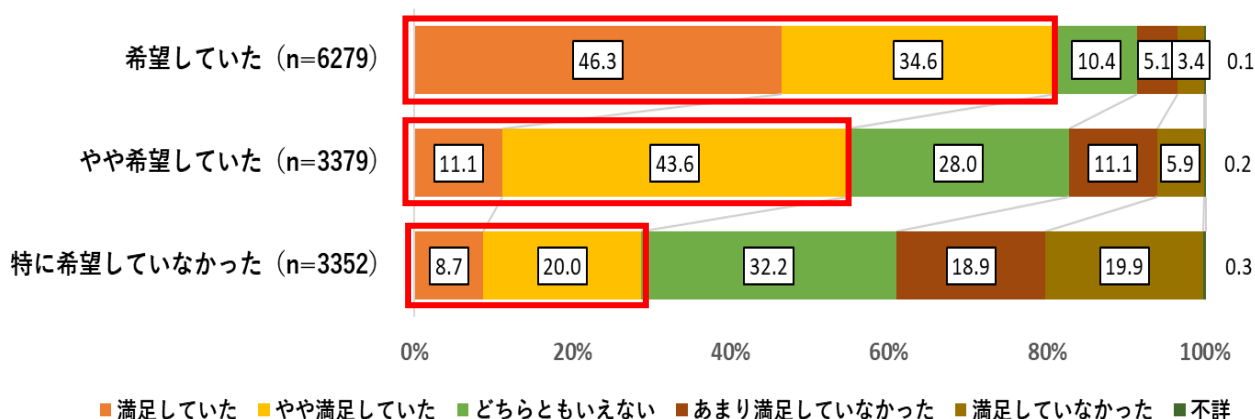


図 14-2 初職に関する就職活動開始前の希望度と満足度



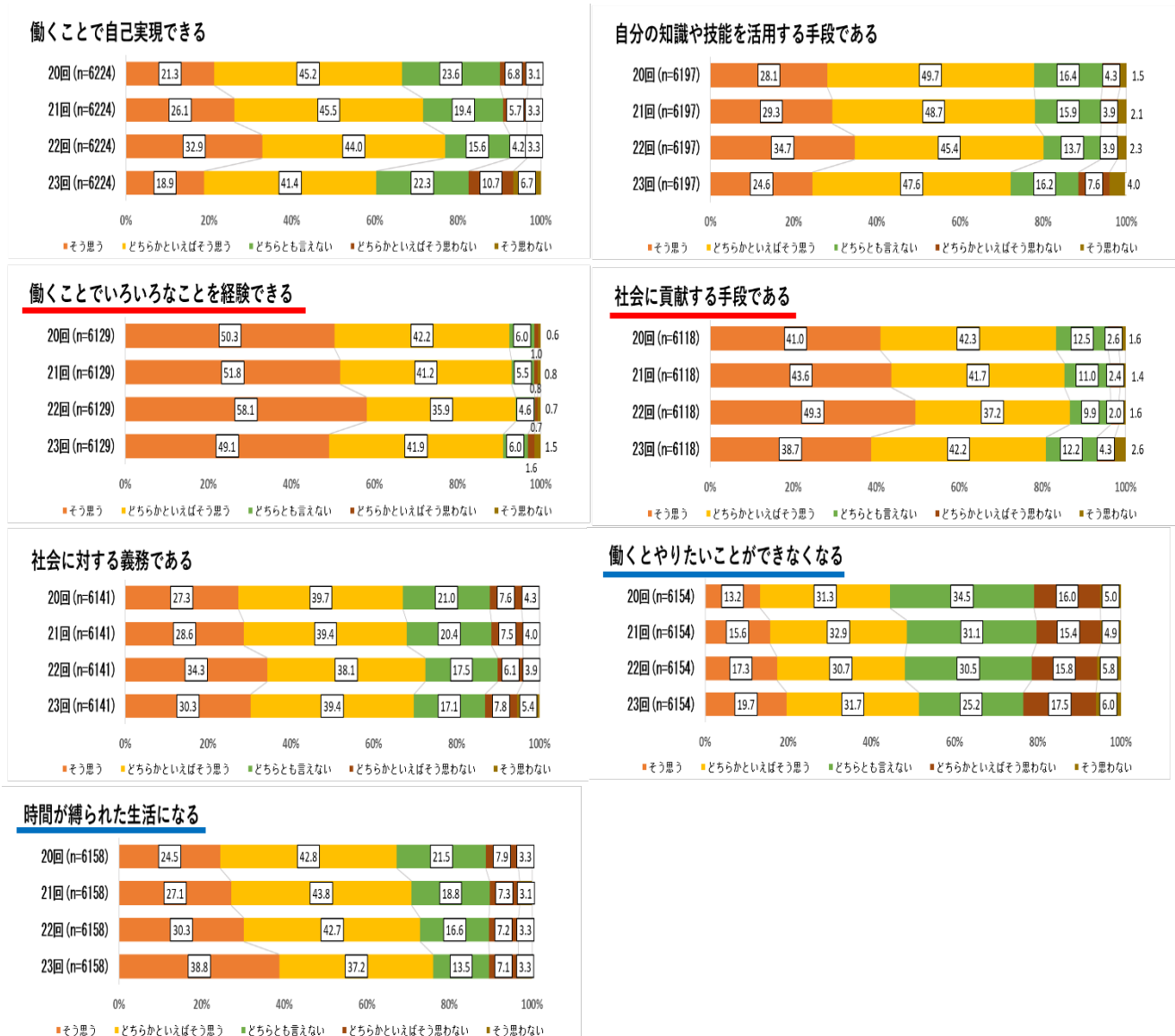
4. 仕事についての考え方

(※就業者のうち、前回（第22回）まで在学者であった者に係るもの)

○ 仕事についての考え方について、第20回から今回（第23回）までの傾向をみると、

- ・ 「働くとやりたいことができなくなる」「時間が縛られた生活になる」の各項目において、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の割合の合計は、ほぼ毎回増加している。
- ・ 一方、その割合の合計は、それ以外の各項目において、今回（第23回）、前回（第22回）より減少しているが、「働くことでいろいろなことが経験できる」「社会に貢献する手段である」の各項目において、常に8割を超えている。（図15）

図15 仕事についての考え方



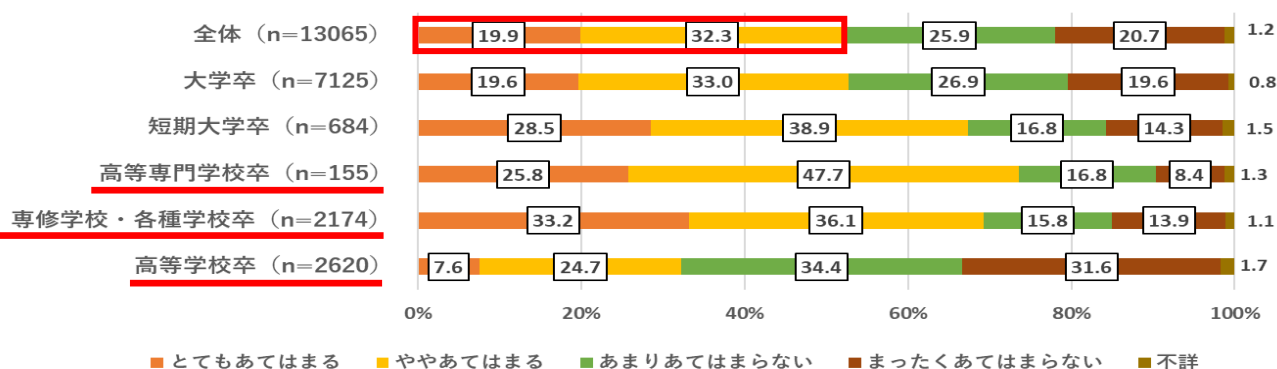
※ 各項目について、第20回から今回（第23回）までの全てに回答があった者を集計している。

5. 現在の仕事に対する認識【新規】

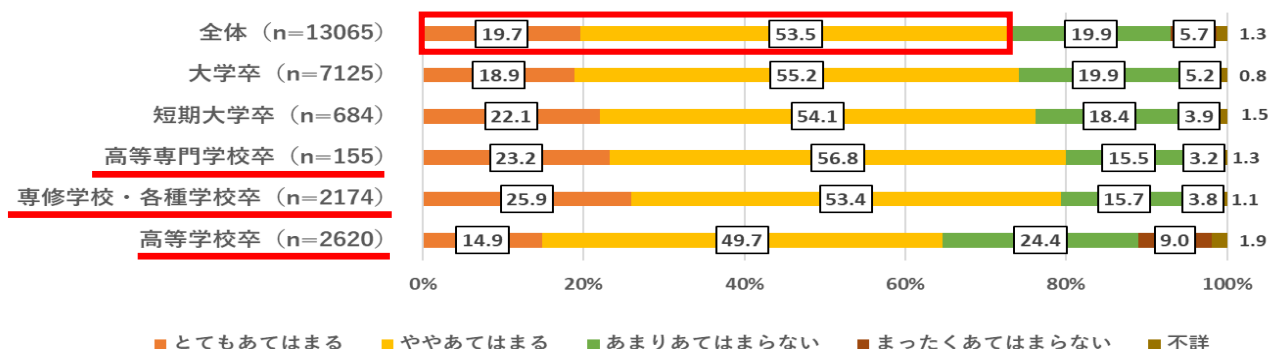
- 現在の仕事に対する認識について、
- ・ 「現在の仕事は、学校で学んだことが生かせる」という質問に対して、「とてもあてはまる」「ややあてはまる」と回答した者の割合の合計は、全体で 52.2%となっており、「高等専門学校卒」が 73.5%、「専修学校・各種学校卒」が 69.3%を占めている。
 - ・ また、「現在の職場は、自分の能力を発揮できる」という質問に対して、その割合の合計は、全体で 73.2%となっており、「高等専門学校卒」と「専修学校・各種学校卒」では約 8 割を占めている。
 - ・ 一方、「高等学校卒」では、その割合の合計は、「現在の仕事は、学校で学んだことが生かせる」という質問に対しては 32.3%であるが、「現在の職場は、自分の能力を発揮できる」という質問に対しては 64.6%を占めている。
- (図 16)

図 16 現在の仕事に対する認識

現在の仕事は、学校で学んだことが生かせる



現在の職場は、自分の能力を発揮できる



6. 現在の仕事等の満足度【新規】

- 現在の仕事等の満足度について、全体でみると、「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した者の割合の合計は、「職場の人間関係」が70.8%、「現在の働き方（正社員・アルバイトなど）」が67.8%、「企業等の事業内容」が66.3%を占めるなど、多くの項目において、比較的割合が高くなっている。（図17-1）
- 一方、「給料」については、「どちらかといえば不満である」「不満である」と回答した者の割合の合計が34.0%を占めている。（図17-1）
- 他方、最終学歴別にみると、「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した者の割合の合計は、各項目において、他の学校種に比べて、「大学卒」や「高等専門学校卒」が比較的高くなっている。（図17-2）

図17-1 現在の仕事等の満足度（就業者全体）

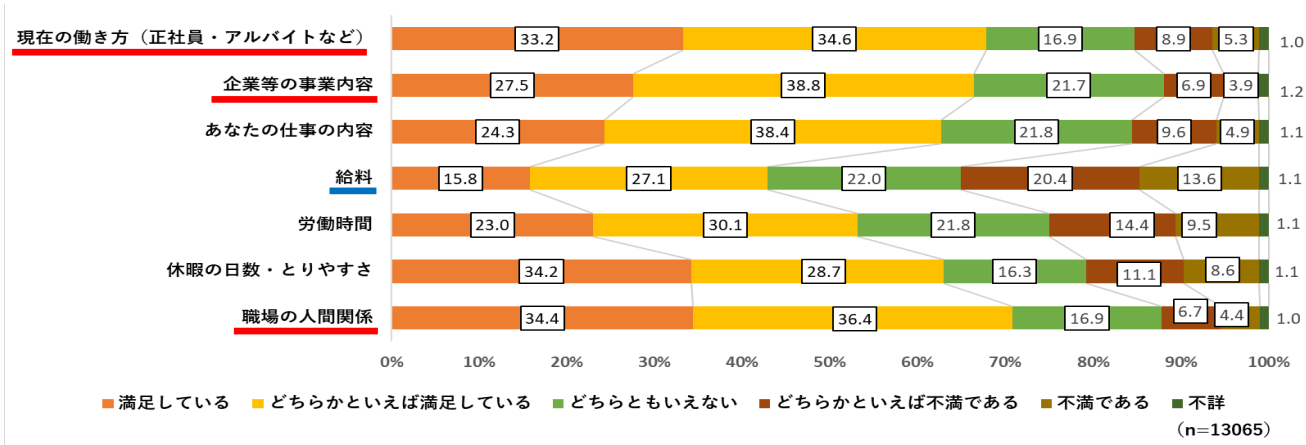
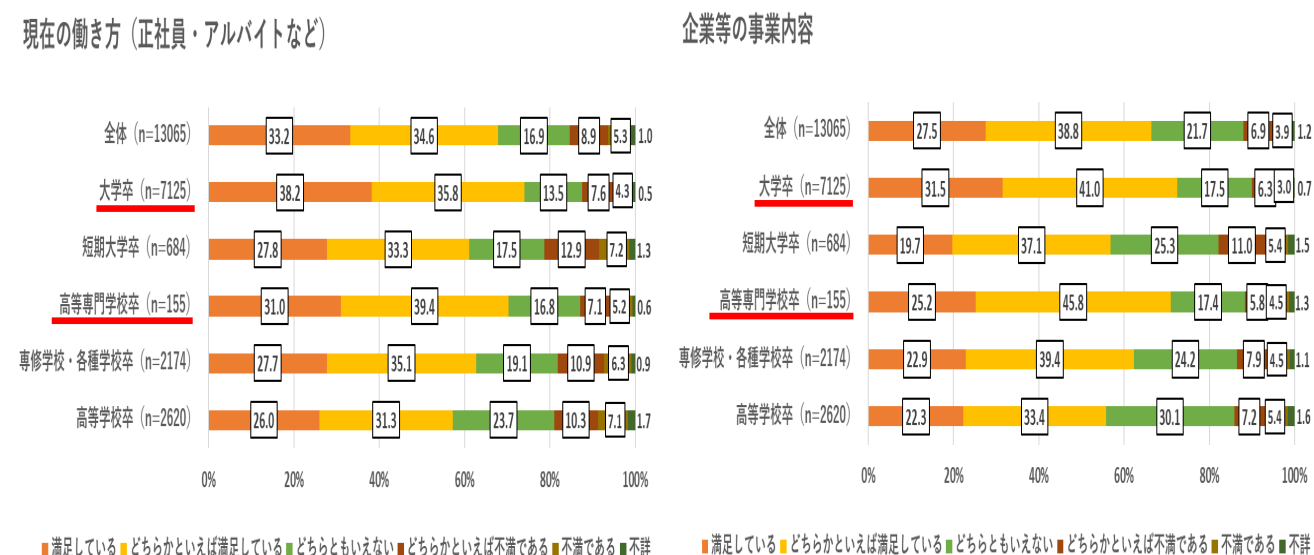
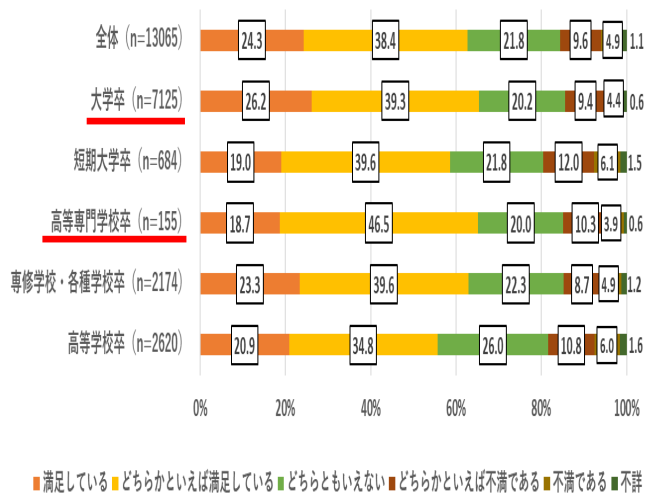


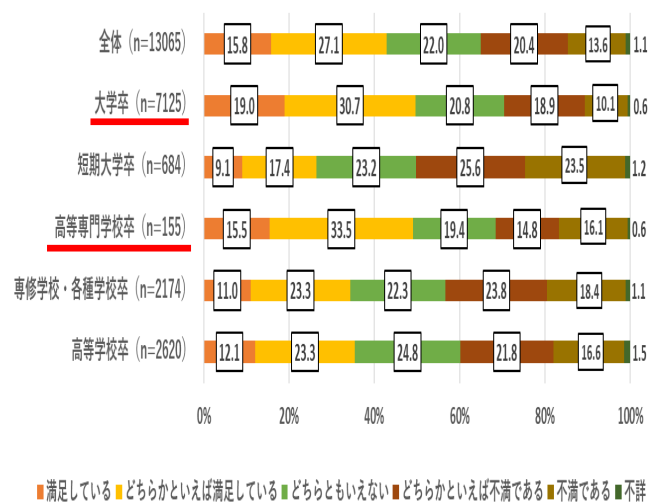
図17-2 現在の仕事等の満足度（最終学歴別）



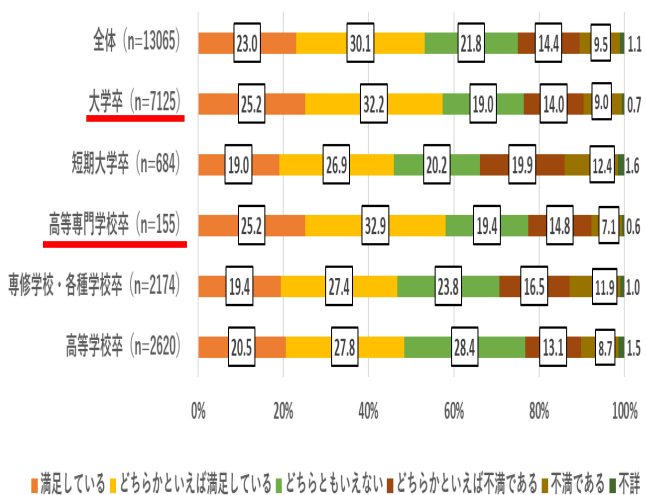
あなたの仕事の内容



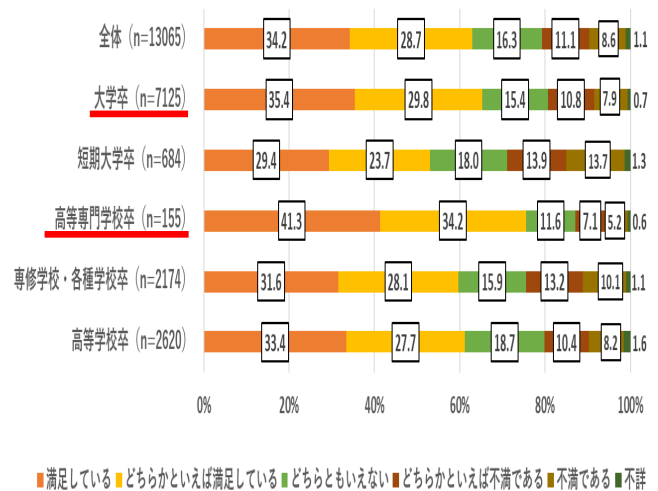
給料



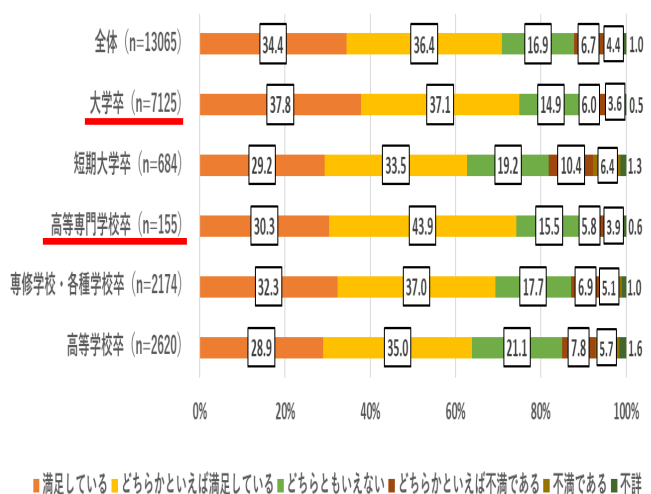
労働時間



休暇の日数・とりやすさ



職場の人間関係



統計表1-1 調査対象者の現在の状況（3頁・図1-1）

	（対 象 者 数 ） （総 数 ）	在 学 者	大 学 院	大 学 専 門 職	大 学	短 期 大 学	高 等 学 校 専 門	校 ・ 専 修 学 校 各 種	そ の 他 ・ 不 詳	就 業 者	そ の 他	不 詳
実数（単位：人）	20458	3869	1058	59	2444	26	3	167	112	13001	1181	2407
割合（単位：%）	100.0	18.9	5.2	0.3	11.9	0.1	0.0	0.8	0.5	63.5	5.8	11.8

本人保護者両方もしくは、いずれかの回答があったものを集計。

「在学しながら就業をしている」と回答した64名は「在学者」に計上。

統計表1-2 調査対象者の現在の状況（3頁・図1-2）

（単位：人）

	（対 象 者 数 ） （総 数 ）	在 学 者	大 学 院	大 学 専 門 職	大 学	短 期 大 学	高 等 学 校 専 門	校 ・ 専 修 学 校 各 種	そ の 他 ・ 不 詳	就 業 者	そ の 他	不 詳
第22回調査	21523	12612	-	-	11842	56	45	457	212	5946	811	2154
第23回調査	20458	3869	1058	59	2444	26	3	167	112	13001	1181	2407

「在学しながら就業をしている」と回答した者は「在学者」に計上。

統計表1-3 就業者の最終学歴（3頁・図1-3）

（単位：人）

	総 数	大 学	短 期 大 学	高 等 学 校 専 門	校 ・ 専 修 学 校 各 種	高 等 学 校	そ の 他	不 詳
第23回調査 就業者	13001	7114	680	154	2169	2586	254	44

「在学しながら就業をしている」と回答した者は除く。

統計表2 精神的健康の状態（本人）（4頁・図2）

（単位：人）

	明るく、楽しい 気分で過ごした	落ち着いた、リ ラックスした気 分で過ごした	意欲的で、活動 的に過ごした	ぐっすりと休 め、気持ちよく 目覚めた	日常生活の中 に、興味のある ことがたくさん あった
第19回調査	14536	14438	14354	14390	14375
いつも	1588	1497	1232	1560	1240
ほとんどいつも	3346	3439	2435	2952	2134
半分以上の期間を	4672	4532	4082	3618	3516
半分以下の期間を	2626	2610	3107	2955	2792
ほんのたまに	1935	1917	2677	2465	3654
まったくない	369	443	821	840	1039
第20回調査	14536	14438	14354	14390	14375
いつも	1505	1541	1276	1539	1096
ほとんどいつも	3350	3397	2324	2791	1804
半分以上の期間を	5105	4744	4137	3844	3571
半分以下の期間を	2495	2545	3017	2867	2939
ほんのたまに	1736	1820	2720	2535	3853
まったくない	345	391	880	814	1112
第21回調査	14536	14438	14354	14390	14375
いつも	1259	1143	1166	1157	1064
ほとんどいつも	3259	3186	2560	2605	1978
半分以上の期間を	5102	4760	4240	3826	3723
半分以下の期間を	2574	2811	2974	3072	2950
ほんのたまに	1971	2065	2634	2801	3672
まったくない	371	473	780	929	988
第22回調査	14536	14438	14354	14390	14375
いつも	1642	1496	1541	1434	1325
ほとんどいつも	3441	3330	2844	2761	2054
半分以上の期間を	5029	4776	4438	3922	3831
半分以下の期間を	2451	2572	2708	3072	2853
ほんのたまに	1634	1868	2177	2381	3429
まったくない	339	396	646	820	883
第23回調査	14536	14438	14354	14390	14375
いつも	1093	966	1082	1018	1070
ほとんどいつも	3189	2968	2556	2387	1954
半分以上の期間を	5251	4888	4554	3991	3891
半分以下の期間を	2872	3099	3067	3490	2947
ほんのたまに	1801	2126	2453	2702	3670
まったくない	330	391	642	802	843

第19回、第20回、第21回、第22回、第23回のすべてに回答があったものについて集計。

統計表3 自尊感情の変化（5頁・図3）

（単位：人）

	色々な良い素質を持っている	物事を人並みには、うまくやれる	自分には、自慢できるところがありません	自分に対して肯定的である	だいたいにおいて、自分に満足している	もっと自分自身を尊敬できるようにになりたい
第19回調査	14319	14399	14291	14291	14282	14280
とてもあてはまる	1307	1871	1662	1279	1184	3880
ややあてはまる	4345	6664	4088	3864	4325	5389
どちらともいえない	5045	3409	4360	5244	4116	3361
あまりあてはまらない	2762	1905	3419	3038	3523	1231
まったくあてはまらない	860	550	762	866	1134	419
第20回調査	14319	14399	14291	14291	14282	14280
とてもあてはまる	1260	1949	1612	1543	1380	4224
ややあてはまる	4646	6803	4281	4073	4524	5207
どちらともいえない	4699	3040	4245	4737	3983	3220
あまりあてはまらない	2931	1995	3354	2971	3285	1227
まったくあてはまらない	783	612	799	967	1110	402
第21回調査	14319	14399	14291	14291	14282	14280
とてもあてはまる	1406	2223	1599	1552	1480	4133
ややあてはまる	4953	7185	4393	4466	4973	5411
どちらともいえない	4439	2688	3786	4482	3720	3196
あまりあてはまらない	2776	1756	3628	2915	3071	1138
まったくあてはまらない	745	547	885	876	1038	402
第22回調査	14319	14399	14291	14291	14282	14280
とてもあてはまる	1819	2159	1353	1780	1767	3922
ややあてはまる	5314	6867	3873	4634	5220	5398
どちらともいえない	3945	2947	3971	4116	3508	3148
あまりあてはまらない	2461	1833	4069	2890	2818	1319
まったくあてはまらない	780	593	1025	871	969	493
第23回調査	14319	14399	14291	14291	14282	14280
とてもあてはまる	1609	2315	1506	1790	1674	4107
ややあてはまる	5174	7201	4273	4835	5462	5339
どちらともいえない	4196	2627	3478	3888	3434	3184
あまりあてはまらない	2660	1720	3953	2897	2817	1241
まったくあてはまらない	680	536	1081	881	895	409

第19回、第20回、第21回、第22回、第23回のすべてに回答があったものについて集計。

統計表4 生活全般の満足度（6頁・図4）

（単位：人）

	人が困っている ときは進んで助 けている	人の役に立つ人 間になりたいと 思う	今住んでいる地 域の行事に参加 している	地域や社会をよ くするために何 かしてみたいと 思う	自分と違う意見 について考える のは楽しい	将来の自分の仕 事や生活に希望 がある	普段の生活の中 で幸せな気持ち になることがよ くある	あなたの良いと ころを認めてく れる人がいる
第23回調査	20458	20458	20458	20458	20458	20458	20458	20458
あてはまる	4814	8592	746	2065	4006	3710	4197	7602
どちらかといえばあてはまる	10552	7567	2050	7107	7994	7670	9234	8215
どちらかといえばあてはまらない	2222	1403	4485	5169	4621	4430	3694	1607
あてはまらない	414	432	10721	3655	1368	2166	872	574
不詳	2456	2464	2456	2462	2469	2482	2461	2460

統計表5 学校生活の満足度（大学院在学者）（7頁・図5）

（単位：人）

	学校の友人関係は うまくいっている	教師との関係はう まくいっている	ためになると思え る授業がたくさん ある	楽しいと思える授 業がたくさんある	学校の勉強は将来 役に立つと思う	授業の内容をよく 理解できている
第19回調査	913	924	924	924	924	911
とてもそう思う	199	86	207	167	322	113
まあそう思う	501	595	553	479	511	606
あまりそう思わない	129	181	142	243	75	175
まったくそう思わない	84	62	22	35	16	17
第20回調査	913	924	924	924	924	911
とてもそう思う	277	134	239	189	332	135
まあそう思う	507	598	552	490	492	545
あまりそう思わない	100	162	113	217	90	207
まったくそう思わない	29	30	20	28	10	24
第21回調査	913	924	924	924	924	911
とてもそう思う	296	183	262	216	361	157
まあそう思う	523	629	559	496	460	557
あまりそう思わない	73	98	90	189	92	180
まったくそう思わない	21	14	13	23	11	17
第22回調査	913	924	924	924	924	911
とてもそう思う	301	259	243	193	329	179
まあそう思う	544	575	565	517	488	574
あまりそう思わない	57	76	100	193	97	146
まったくそう思わない	11	14	16	21	10	12
第23回調査	913	924	924	924	924	911
とてもそう思う	379	306	285	232	348	194
まあそう思う	470	521	499	467	467	597
あまりそう思わない	48	79	122	197	95	106
まったくそう思わない	16	18	18	28	14	14

「在学者」には「在学しながら、就業している者」を含む。また、「大学院」には「専門職大学院」を含む。以下の各表において同じ。

統計表6 奨学金の受給状況（9頁・図6）

（単位：人）

	総数	大学院	大学	その他
奨学金を受給した				
給付奨学金のみ	254	78	163	13
貸与奨学金のみ	617	241	346	30
給付奨学金と貸与奨学金の両方	126	50	72	4
奨学金を受給した（不詳）	1	-	1	-
奨学金を受給しなかった				
申請しなかった	2496	655	1653	188
申請したが、不採用	108	38	63	7
奨学金を受給しなかった（不詳）	226	55	145	26
不詳	41	-	1	40

「受給した」には、奨学金の受給予定を含む。

「その他」は、在学者のうち、「短期大学」「高等専門学校」「専修学校・各種学校」「その他」並びに無回答の者。

統計表7 奨学金受給とアルバイト経験・理由（大学院在学者）（10頁・図7-1 図7-2）

（単位：人）

	総数	アルバイトをした理由のうち、特に強い理由									アルバイト等をしていない	不詳
		お小遣いが欲しかったから	アルバイト等に興味があったから	良い経験にと思ったから	家族・親せきに紹介されたから	友人・知人に勧められたから	生活費・学費にあてるため	親の家計を助けるため	その他	不詳		
奨学金を受給した	369	120	6	59	1	4	105	4	6	64	50	2
奨学金を受給しなかった	748	338	18	129	2	4	105	1	10	141	116	4

統計表8 将来の進路（大学院在学者）（11頁・図8 12頁・図9）

（単位：人）

	総数	現在通っている学校を卒業後に働くことを考えている	現在通っている学校を卒業後、大学院に進学し、その後働くことを考えている	現在通っている学校を卒業後、別の学校(※)に進学し、その後働くことを考えている	現在通っている学校を中退後に働くことを考えている	現在通っている学校を中退後、別の学校(※)に進学し、その後働くことを考えている	働くことを考えていない	具体的にはまだ決まっていない	その他	不詳
総数	1117	212	659	40	-	2	3	145	5	51
人文科学	51	14	26	-	-	1	-	9	-	1
社会科学	56	21	28	-	-	-	1	5	-	1
理学	205	26	133	4	-	-	1	26	2	13
工学	556	83	352	27	-	-	-	70	1	23
農学	69	14	41	3	-	-	-	10	-	1
保健	59	18	26	5	-	-	-	4	-	6
家政	6	2	3	-	-	-	-	1	-	-
教育	34	18	11	-	-	-	-	1	1	3
芸術	31	6	14	-	-	-	1	8	1	1
国際関係	3	-	1	-	-	-	-	2	-	-
その他	43	9	22	1	-	1	-	8	-	2
不詳	4	1	2	-	-	-	-	1	-	-

「別の学校」とは、大学の他、専門学校・各種学校等を含むが、大学院は含まない。

統計表9 博士課程への進学意向（専門分野別）（13頁・図10）

（単位：人）

	総数	進学を考えている	検討中・未定	進学を考えていない	不詳
総数	1117	72	136	902	7
うち1月生まれ	567	33	49	482	3
うち7月生まれ	550	39	87	420	4
人文科学	51	8	9	32	2
社会科学	56	3	12	41	-
理学	205	26	30	148	1
工学	556	17	40	497	2
農学	69	6	6	57	-
保健	59	3	10	44	2
家政	6	1	2	3	-
教育	34	2	8	24	-
芸術	31	1	9	21	-
国際関係	3	1	-	2	-
その他	43	3	8	32	-
不詳	4	1	2	1	-

「博士課程」には、博士後期課程を含む。

統計表10 博士課程への進学を検討する上での懸念材料・進まない理由（複数回答）（14頁・図11）

（単位：人）

	経済的に自立したい	早く仕事がしたい	博士課程に進学すると経済的見通し（学費・生活費）が立たない	博士課程に進学すると修了後の就職が心配	博士課程に進学した場合のコストパフォーマンスが心配	仕事をしたいことに対する後ろめたさ	博士論文に値する研究テーマが見つけれない	研究室環境が好ましくない（競争が激しい等）	結婚・出産・育児	修士課程（博士前期課程を含む）で満足した	特になし	その他	不詳
進学を考えている	37	8	35	28	19	16	7	3	20	1	10	3	-
検討中・未定	89	55	64	66	54	39	33	14	35	15	7	15	1
進学を考えていない	537	448	284	314	312	175	184	115	122	453	25	30	10

「博士課程」には、博士後期課程を含む。

統計表11 就業者の職種（15頁・図12）

（単位：人）

	管理職	専門職・ 技術職	事務職	販売職	サービス 職	保安職	農林漁業 職	生産工程 の仕事	輸送・機 械運転職	建設・採 掘職	運搬・清 掃・包装 職	不詳
第23回調査 就業者	66	4092	2428	1974	1654	255	100	1136	123	527	243	467

「就業者」には、「在学しながら、就業している者」を含む。以下の各表において同じ。

統計表12 現在の仕事を選んだ理由（15頁・図13）

（単位：人）

	高い収入が得 られるから	地位や名声が 得られるから	自分の能力や 適性が生かせる から	自分の興味や 好みに合ってい るから	社会や人のた めに役立ち、 貢献できるか ら	失業のおそれ がないから	親（祖父母や 親戚を含む） の仕事だから	その他	不詳
第23回調査 この1年間に新たに 仕事をはじめた就業者	636	59	1150	1797	545	396	56	833	385

就業者のうち、この1年間に新たに仕事をはじめたと回答した者を集計している。

統計表13 初職に関する就職活動開始前の希望度（16頁・図14-1）

（単位：人）

	希望していた	やや希望していた	希望していなかつ た	不詳
初職で就いた仕事は、 就職活動が始まる前に	6279	3379	3352	55

統計表14 初職の就職活動開始前の希望度と満足度（16頁・図14-2）

（単位：人）

	満足していた	やや満足していた	どちらともいえな い	あまり満足してい なかった	満足していなかつ た	不詳
希望していた	4341	4517	2207	1165	698	137
やや希望していた	3597	5075	2830	898	511	154
特に希望していなかった	3174	5011	2847	1252	635	146

統計表15 仕事についての考え方（17頁・図15）

（単位：人）

	働くことで自己実現できる	自分の知識や技能を活用する手段である	働くことでいろいろなことを経験できる	社会に貢献する手段である	社会に対する義務である	働くとやりたいことができなくなる	時間が縛られた生活になる
第20回調査	6224	6197	6129	6118	6141	6154	6158
そう思う	1326	1739	3085	2507	1678	814	1506
どちらかといえばそう思う	2814	3079	2585	2586	2441	1926	2637
どちらとも言えない	1467	1018	365	764	1291	2126	1323
どちらかといえばそう思わない	425	266	59	161	464	982	489
そう思わない	192	95	35	100	267	306	203
第21回調査	6224	6197	6129	6118	6141	6154	6158
そう思う	1624	1816	3172	2668	1759	961	1668
どちらかといえばそう思う	2830	3021	2524	2549	2419	2026	2695
どちらとも言えない	1208	983	336	670	1254	1915	1160
どちらかといえばそう思わない	354	244	49	147	462	950	447
そう思わない	208	133	48	84	247	302	188
第22回調査	6224	6197	6129	6118	6141	6154	6158
そう思う	2047	2152	3563	3019	2109	1064	1863
どちらかといえばそう思う	2739	2815	2199	2275	2339	1892	2628
どちらとも言えない	973	847	279	606	1076	1874	1023
どちらかといえばそう思わない	259	243	44	121	377	970	443
そう思わない	206	140	44	97	240	354	201
第23回調査	6224	6197	6129	6118	6141	6154	6158
そう思う	1174	1522	3007	2366	1861	1210	2392
どちらかといえばそう思う	2576	2952	2567	2580	2420	1952	2291
どちらとも言えない	1391	1006	365	745	1049	1551	834
どちらかといえばそう思わない	668	469	100	265	479	1074	436
そう思わない	415	248	90	162	332	367	205

就業者のうち、前回（第22回）まで在学者であった者を集計している。

各項目について、第20回、第21回、第22回、第23回のいずれにも回答があった者を集計している。

統計表16 現在の仕事に対する認識（最終学歴別）（18頁・図16）

現在の仕事は、学校で学んだことが生かせる

（単位：人）

	とてもあ てはまる	ややあて はまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない	不詳
総数	2594	4218	3382	2709	162
大学卒	1399	2354	1919	1395	58
短期大学卒	195	266	115	98	10
高等専門学校卒	40	74	26	13	2
専修学校・各種学校卒	721	784	343	302	24
高等学校卒	198	647	902	829	44

現在の職場は、自分の能力を発揮できる

（単位：人）

	とてもあ てはまる	ややあて はまる	あまりあ てはまら ない	まったく あてはま らない	不詳
総数	2568	6989	2598	743	167
大学卒	1349	3930	1418	372	56
短期大学卒	151	370	126	27	10
高等専門学校卒	36	88	24	5	2
専修学校・各種学校卒	564	1161	342	83	24
高等学校卒	390	1302	640	237	51

統計表17-1 現在の仕事等の満足度（19頁・図17-1）

（単位：人）

	満足してい る	どちらかとい えば満足 している	どちらとも いえない	どちらかとい えば不満 である	不満である	不詳
現在の働き方（正社員・アルバイトなど）	4341	4517	2207	1165	698	137
企業等の事業内容	3597	5075	2830	898	511	154
あなたの仕事の内容	3174	5011	2847	1252	635	146
給料	2060	3545	2871	2670	1781	138
労働時間	3008	3937	2850	1884	1242	144
休暇の日数・とりやすさ	4470	3750	2130	1450	1119	146
職場の人間関係	4498	4756	2214	880	581	136

統計表17-2 現在の仕事等の満足度（最終学歴別）（19頁・図17-2）

現在の働き方（正社員・アルバイトなど）

（単位：人）

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	不詳
総数	4341	4517	2207	1165	698	137
大学卒	2722	2554	965	542	303	39
短期大学卒	190	228	120	88	49	9
高等専門学校卒	48	61	26	11	8	1
専修学校・各種学校卒	602	762	415	237	138	20
高等学校卒	681	819	622	269	185	44

企業等の事業内容

（単位：人）

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	不詳
総数	3597	5075	2830	898	511	154
大学卒	2246	2919	1248	447	214	51
短期大学卒	135	254	173	75	37	10
高等専門学校卒	39	71	27	9	7	2
専修学校・各種学校卒	497	857	527	171	98	24
高等学校卒	585	875	789	188	141	42

あなたの仕事の内容

（単位：人）

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	不詳
総数	3174	5011	2847	1252	635	146
大学卒	1864	2797	1438	673	310	43
短期大学卒	130	271	149	82	42	10
高等専門学校卒	29	72	31	16	6	1
専修学校・各種学校卒	507	860	485	190	106	26
高等学校卒	547	911	681	282	157	42

給料

（単位：人）

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	不詳
総数	2060	3545	2871	2670	1781	138
大学卒	1352	2185	1481	1346	719	42
短期大学卒	62	119	159	175	161	8
高等専門学校卒	24	52	30	23	25	1
専修学校・各種学校卒	240	507	485	518	401	23
高等学校卒	317	610	649	571	434	39

労働時間

（単位：人）

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	不詳
総数	3008	3937	2850	1884	1242	144
大学卒	1792	2296	1354	996	640	47
短期大学卒	130	184	138	136	85	11
高等専門学校卒	39	51	30	23	11	1
専修学校・各種学校卒	422	595	518	358	259	22
高等学校卒	538	728	744	343	228	39

休暇の日数・とりやすさ

（単位：人）

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	不詳
総数	4470	3750	2130	1450	1119	146
大学卒	2525	2123	1099	771	560	47
短期大学卒	201	162	123	95	94	9
高等専門学校卒	64	53	18	11	8	1
専修学校・各種学校卒	687	610	346	288	220	23
高等学校卒	876	727	489	272	215	41

職場の人間関係

（単位：人）

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	不詳
総数	4498	4756	2214	880	581	136
大学卒	2696	2642	1061	428	259	39
短期大学卒	200	229	131	71	44	9
高等専門学校卒	47	68	24	9	6	1
専修学校・各種学校卒	702	805	385	150	110	22
高等学校卒	758	916	552	204	149	41